

# 令和7年度 『鹿折小学校の教育』 全体構造図

保護者の願い

- ① 学校に行くことを楽しみと感じる子供
- ② 思いやりがあり誰に対しても優しくできる子供
- ③ 向上心をもち、進んで学ぶ子供
- ④ 生きて働く確かな学力・能力を身に付けた子供
- ⑤ 心身ともに健康で、粘り強い子供

上記のような子どもに育ってほしいと願っている。

今日的課題

- ① 予測が難しい社会への対応  
……急激な気候、変動グローバル化、AIの革新
- ② 『社会で生きて働く力 (Society5.0)』の育成  
……豊かな心・確かな学力・健やかな体の調和
- ③ 持続可能な共生社会への人づくり・地域づくり  
……自立・協働・創造によるSDGsの達成

児童の実態

- ① 素直で明るい児童が多いが、相手を尊重することができず、自分本位な考え方・行動をとる児童もいる。
- ② 基礎・基本の習得が不十分なため、学習に意欲的に取り組めない児童があり、学力面での二極化がみられる。また、活用する力が十分に高まっていない。
- ③ 震災等での家庭(養育)環境の変化により、特に配慮を必要とし、個別支援が必要な児童が多くみられる。

教師の願い

- ① 互いのよさを認め合い、他の人への思いやりをもって接することができる子供になってほしい。
- ② 夢や志を持ち、目標の実現に向けて粘り強く学び、進んで行動する子供になってほしい。
- ③ 命の大切さを重んじ、心身ともにたくましくしなやかな子供になってほしい。

## 目指す学校

ユネスコスクール・海洋教育パイオニアスクールとして

- ① 誰一人取り残さず、全ての児童が楽しいと感じる学校
- ② いつでも安心・安全な学校
- ③ ともに高め合える学校
- ④ 「海洋リテラシーfor気仙沼」の育成を図るとともに、持続可能な社会の担い手としての資質・能力を育てる学校

## 学校教育目標

### 志高く、自ら進んで考え、行動し、しなやかに未来を生き抜く児童の育成

○持続可能な社会の創り手としての資質・能力の土台の育成  
○東日本大震災の教訓と人々の思いの継承  
○学校・家庭・地域の強い絆とパートナーシップと実践  
○ふるさと気仙沼を創造する高い志・豊かな知性と感性  
○レジリエンスを身に付ける教育活動

自分も他の人も大切にし、共に未来を考え行動する持続可能な社会の創り手へ

## 目指す教師像

持続可能な社会の創り手としての児童の資質・能力の育成

- ① 子供の成長を信じ、子供の気持ちを理解し、愛情と情熱にあふれる教師
- ② 学習指導要領に示された持続可能な社会の担い手の育成に向けて、児童の指導に真剣に熱心に取り組む教師
- ③ 使命感を持ち、創造性と向上心に満ちた教師
- ④ 子供と保護者に信頼され、学校・地域を支える教師

## 鹿折小SDGs重点目標とESD

◆自立・責任 ◆調和・協働 ◆志・創造

○国連の世界の未来を変えるための持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)のうち10を重点目標に掲げる  
○持続可能な「共生・共創」社会(人の共生、自然との共生、地域との共生・共創)の実現を目指す  
○ホールスクール・アプローチによりESD(Education for Sustainable Development)を充実・発展させる



4 賢い教育をみんなに	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	3 すべての人に健康と福祉を
『かしこく』【知】 夢や志をもち、目標を立て進んで学ぶ子供	『やさしく』【徳】 思いやりをもち、自分も他の人も大事にする子供	『なかよく』【共】 他の人と協力し合い、共に成し遂げる子供	『たくましく』【心】【体】【命】 心と体をきたえ、粘り強い子供

◆自分の考えをもちよりよく判断し、行動する力	◆自分も他の人も大切にする力	◆関心をもち、自らかかわる力	◆チャレンジする力・命を大切にする力
------------------------	----------------	----------------	--------------------

## 学校経営のアクション・プランと重点事項

プランI 課題解決能力・確かな学力の育成	プランII 豊かな心の育成・個の重視	プランIII 調和・協働	プランIV 気力・健康・安全
<p>1 「海と生きる探究活動」を通じた児童の資質・能力の育成 ① 海洋リテラシーfor気仙沼を踏まえた育成する資質・能力の明確化と单元づくり ② 教科との融合を図り、探究学習を通して、学び方、考え方を育成するとともに、教科の内容の深い理解と活用力の向上を図る单元構成と学習の内容の構築</p> <p>2 児童の主体的な学びが生まれる授業 ① 授業の改善の方向 全ての児童が課題を理解し、考え方を述べあい、理解を深めていく授業(子ども主体の授業) 協働的な学び/個別最適な学び/到達度の自己理解 ② 基礎・基本となる事項の指導の徹底(放課後学習の充実を含む)</p> <p>3 考えをしっかりと書く力の向上 ① 板書を写すのではなく、発問や問題に対する考え方をしっかりと書くことを大切にした指導 ② 日々の学校生活での振り返り記録の積み重ね</p> <p>4 英語教育の充実 ① 教科担任制を導入した複数体制による外国語指導 ② 英語に慣れ親しむコミュニケーション活動の充実 ③ 自国及び他国文化への興味関心の醸成</p>	<p>1 他者を思いやる心を育てる指導 ① 日常の生活の中での振り返りを大切にした生徒指導 ② 教師が児童を否定しない日常の言動 ③ 季節や命、多様な人と触れ合う活動の重視 ④ 道徳教育、人権教育・福祉教育等の充実</p> <p>2 目標を持ち、努力する経験の重視 ① できたりことを実感させる授業 ② 特別活動での適切な目標設定と取組を重視した実践 ③ 教育相談(児童・保護者) ④ 「もとめる・かかわる・はたす」活動の充実 ⑤ SDGs達成など目的を明確にした実践行動</p> <p>3 自己肯定感、自己有用感を高める指導 ① 自尊感情と自己有用感を高める授業・生徒指導 ② 福祉活動の重視(清掃・栽培・ユネスコ/JRC活動)</p> <p>4 一人一人を大切にした授業づくりと生徒指導 ① 個別最適化を図り、自己肯定感を育む指導・支援 ② ユニバーサルデザインによる指導・支援の推進 ③ 問題の早期発見・情報共有・早期対応(「生徒指導カード」、「SOSシート」の活用と組織的対応) ④ 保護者・関係機関・支援学校との連携 ⑤ 家庭・関係機関・SCやSSWとの協力連携</p>	<p>1 協力し、共に達成する特別活動の重視 ① 学校行事や児童会行事等を通じた協働と児童の取組の過程を大切にした取組 ② 縦割り班活動及び子ども園・中学校との連携・交流・接続の推進 ③ 自治的活動の推進と自主・自立の学校風土づくり ④ 会津若松市、沖縄県、キリバス共和国など他校・他地域(海外も含)との交流</p> <p>2 日常的に協働的な学びが行われる授業 ① 一人一人が考え方をもち、意見を交わし合う授業 ② 考えが広がったり、深まったりしたことを児童が実感する授業の振り返りの実践</p> <p>3 学校・家庭・地域・関係機関が連携した学校づくり ① コミュニティ・スクール構想の推進(R5の具現化) ② 保護者・地域との連携・協働 ③ 教育の実践及び学習成果の積極的な発信(ホームページ・お便り) ④ 各種懇談会やアンケート、学校運営協議会等での学校評価・改善</p>	<p>1 家庭と連携した健康的な生活の構築 ① 望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)づくり ② 徒歩通学推奨などによる気力・体力の醸成 ③ SNS等に対するモラルの醸成</p> <p>2 体力向上を図る体育の授業と日常の取組 ① 目的をもって運動の意欲・技能・体力を高める教科体育と体育的行事の充実 ② 地域や家庭状況の変化に起因する諸課題への対応 ③ 外遊びの奨励、業間運動などの充実</p> <p>3 やる気と挑戦心が生まれる教師の支援 ① できる、わかるを実感させる日常の取組 ② 相手を尊重し、相手を否定しない関係づくり ③ 失敗しても大丈夫という安心感を与える学級づくり ④ 新たな取組を実践に導く教師の伴走</p> <p>4 命を守る安全・防災教育の充実 ① 生命尊重・危機回避の日常指導 ② 防災マニュアルに基づいた「防災学習」「防災訓練」の計画的実践 ③ 自治会・中学校・学童及び警察署・消防署との連携</p>

### 自律(自立)・創造 ～自らを知り自らを高める～

◎児童: 学力向上・体力向上・自己教育力向上、自己肯定感の向上を目指す  
◎教師: 授業力向上・指導力向上を目指す

### 誠意・信頼・活力 ～豊かな心を育む～

◎児童・家庭・地域からの信頼  
◎豊かな同僚性を育む教職員組織  
◎自己成長と地域貢献の循環を目指した創造的教育活動

### よりよい未来を描いて生きる ～地域の中で学びを深める～

◎地域の中で(in)体験・かかわる  
◎地域について/about)知る・伝える  
◎地域のために(for)行動・貢献  
◎地域とともに(With)未来を描く